

**原子力システム研究開発事業  
条件付き採択課題の継続評価総合所見**

<p>研究課題名：小型モジュール炉の社会実装を支援する社会総合リスク情報基盤          研究代表者（研究機関名）：澁谷 忠弘（横浜国立大学）          研究期間：令和4年度～令和6年度（3年計画）</p>	
項目	要 約
1. 研究の概要	<p>社会受容性の獲得がボトルネック課題となっている小型モジュール炉（Small Modular Reactor:SMR）のような新型炉に対して、リスク分析に必要な各種情報を整理するとともに、社会リスク構造に基づくシナリオベースの定性的なリスク評価技術を高度化することを目指す。トラブル情報に代表される内的事象、自然災害やテロ等の外的事象に加えて、社会の変化に起因した情報等も適切に考慮したシナリオベースのリスク評価手法を開発する。社会におけるエネルギーシステムの総合評価手法の確立のため、社会の重要インフラとしての視点から判断に必要なリスク評価指標を明らかにするとともに適切な分析、評価を実施するためのガイダンスを確立させる。提案したリスク情報基盤と社会総合リスクアプローチを小型モジュール炉へ試行して、その有効性、客観性を確認することを目的として、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) SMR評価に必要なリスク情報の収集と整理</li> <li>2) 社会総合リスクを考慮した包括的なシナリオ想定と影響予測手法の開発</li> <li>3) SMRに対する社会総合リスク評価の試行</li> </ol>
2. 総合評価	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin: 0 auto; background-color: #cccccc; border-radius: 50%; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-bottom: 10px;">○</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採択時の条件をクリアしているため継続とするが、SMRの社会受容性を考える上で、評価指標や判断基準が受け入れられるプロセスを見つける必要があり、客観的な評価が出来るよう進めて欲しい。</li> <li>・完成形がイメージできるよう、評価例を示す必要がある。</li> </ul> <p>○ 継続は妥当である。          △ 一部の研究について継続は妥当である。          × 継続すべきでない。</p>